

ニーズ調査：環境・エネルギー・廃棄物処理分野
ソロモン・モルディブ・セーシェル 沖縄県中小企業が有する島嶼地域での
太陽光発電システムの技術・ノウハウ導入のニーズ調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社沖縄エネテック
- 提案企業所在地：沖縄県
- サイト・C/P機関：ソロモン諸島・資源エネルギー地方電化省、モルディブ共和国・環境エネルギー省、セーシェル共和国・セーシェルエネルギー委員会

対象国の開発課題

- 遠隔の小島嶼で燃料費がかさむ中、燃料高騰で発電コストが上昇
- 化石燃料に依存せず、環境負荷の小さい安定した電力の供給が必要
- 日本は、第6回太平洋・島サミットで、島嶼である沖縄の経験を活かし、気候変動等共通課題への取組みを宣言

中小企業の技術・製品

- 沖縄の知見を活かして蓄電池を使わない島嶼地域に合った技術提案が可能
- 小型の市販品を組み合わせたシステムにより故障からの迅速な復旧が可能
- シンプルなシステムにより取替コストの縮減が可能

提案されたODA事業及び期待される効果

- 無償資金協力により発電施設の導入を図るとともに、技術協力を通じて太陽光発電システムの系統連系を行うにあたり必要になる制度・基準の導入を図る。
- 対象国の太陽光発電システムの導入が加速するとともに、他国に依存しない運用・維持管理が可能となる。

日本の中小企業のビジネス展開

- 沖縄県内の太陽光発電に係る中小企業の技術が活用・され、海外に展開される。

